

4年次生の強い気持ちがチーム引張る

2位で「全日本大学王座」へ



テニス・関東大学リーグ戦(女子)
▲笑顔の準優勝メンバー

女子の関東大学テニスリーグ戦が9月8日から17日まで、東京都・有明テニスの森公園で行われた。専大は4勝1敗で2位となり、2年連続で全日本大学対抗王座決定試合(以下、王座)の出場を決めた。

全日本学生選手権でベスト4入りしたダブルスとしてプレッシャーがあった

重藤真知子(文3・筑陽学園高)・難波沙樹子(文2・新宿山吹高)を中心に、初戦・山梨学院大に5-2で勝利すると、東洋英和女学院大に5-2、日大に7-0で快勝。勝ち星が並んでいた慶大に4-3で競り勝ち、4戦目で王座の出場権を獲得した。しかし、最終戦では粘りを見せたものの早大に敗れた。

松重貴子主将(文4・秀明英光高)は「プレーヤーとしてチームに貢献できてうれしい。主将としてプレッシャーがあった」

また、男子の関東大学リーグ戦(2部)も9月8日、専大伊勢原テニスコート(以下、伊勢原)は3勝2敗の3位で、惜しくも入れ替え戦に進むことができなかった。

(菅原 亜美・文3)

専大スポ

No.295

大会結果 予定は変更・ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)で確認ください
専大スポーツ Web (http://sensuipo.web.fc2.com) 専大スポーツを配信しています

▼ K-4のメンバー (左から細矢・菊地・三浦・和田)



漕艇・日本カヌースプリント選手権

K-4 2種目で準優勝

実力発揮、短・中距離で健闘

日本カヌースプリント選手権が9月9日から13日まで、石川県小松市木場潟カヌー場で行われた。漕艇部の和田恭平主将(商4・二本松工高)・菊地純一(商3・安達寒河江高)・三浦翔太(商1・安達高)組がカヌーフォア(K-4)200メートルと同500メートルの2種目で準優勝を果たした。

また、カヤックペア(K-2)では500メートルで和田・細矢組が4位、200メートルで中里直貴(経営4・津久井高)・土屋陽経(営3・東郷高)組が5位、和田・菊地組が6位、黒坂将哉(法4・谷地高)が7位と健闘した。

また、中距離でもK-12・1000メートルで和田・三浦組が4位、黒坂・土屋組が6位と健闘した。和田主将は「プロや学生が参加し、日本一を決める大会で底力を発揮することができた。試合前はダッシュ中心の練習にシフトして調子を整え、同時にクルーたちはメダル獲得への意欲をより一層上げた。日本一を逃したことは悔しいが、専大のダッシュ力は日本トップクラスだと自信がつけ、次につながるレースができた」と話した。

(加登 美有・文1)

馬術・関東学生女子競技大会

鶴林が個人馬場馬術3位

団体障害3位、馬場は4位



▲全日本学生での活躍が期待される鶴林主将(撮影・高田有梨)

関東学生馬術女子競技大会が10月2、3の両日、JRA馬事公苑で行われた。個人では馬場馬術部門で鶴林舞主将(商4・市立前橋高)が3位と健闘。団体では障害馬術で3位、馬場馬術で4位の好成績を上げた。

鶴林主将は「1年次に優勝している大会なので、今年も狙っていた。3位という結果は悔しい」と次大会への意気込みを話した。

(小澤 幸希乃・経営)

水泳・日本学生選手権(水球)

4年連続の4位に

来年度シード権は確保

日本学生選手権水球競技大会(水球競技)が9月2日から5日まで、神奈川県相模原市立総合水泳場で行われた。4位連続したものの、準決勝以上に来年度のシード権が与えられる今大会。初戦の金沢工大に21-2、2回戦の中大に18-8と水泳場で行われた。4位連続したものの、準決勝



▲果敢にシュートを狙う堀脇

日本学生選手権水球競技大会(水球競技)が9月2日から5日まで、神奈川県相模原市立総合水泳場で行われた。4位連続したものの、準決勝以上に来年度のシード権が与えられる今大会。初戦の金沢工大に21-2、2回戦の中大に18-8と水泳場で行われた。4位連続したものの、準決勝

で日体大に11-22で敗れた。

3位決定戦では早大と対戦し、第1ピリオドから接戦を展開した。堀脇千尋(経営4・鹿児島南高)・根井亮輔(経営3・秀明英光高)・中村光希(法1・秀明英光高)がそれぞれ2得点を上げたが、徐々に点差が離れ、7-10の僅差で敗退。4年連続4位となったが、シード権は確保した。

桑田卓主将(商4・秀明英光高)は大会を振り返り、「思い通りに試合が進まず、プレーが乱れてしまった。今までもってきた練習の成果を十分に発揮できなかったことが悔しいが、大学生活最後の試合でベストを尽くすことができた」と話した。

(小澤) ▼全日本学生選手権

◇ゴルフ部
▽信天杯日本大学対抗戦 11月9、10日(千葉カントリークラブ)
◇卓球部
▽全日本大学総合選手権(個人の部)
10月22~24日(大阪府・大稲城グラウンド)

◇テニス部
▽全日本大学対抗王座決定試合
10月21~25日(岐阜メモリアルセンター)
◇馬術部
▽全日本学生競技大会(全日本学生三大大会)
10月22~27日(JRA馬事公苑)

◇バドミントン部
▽全日本学生選手権
10月15~17日(長野県千曲川リバーフロントスポーツガーデン)

◇ローラースケート部
▽全日本学生選手権
10月11、12日(駒沢体育館)

「新時代」テーマに新人選手をクローズアップ

キャンパス内のラックで無料配布されている。同誌は表紙から記事・編集まですべてを部員たちが一から制作。昨年3月に創刊され、年2回のペースで発行されている。今号は「新時代」をテーマに、活躍が著しい新入生をクローズアップ。また、89年にキャプテンとしてラグビー部のリーグ制覇に貢献し、現在は7人制ラグビー日本代表監督である村田直さん(平2文)のインタビューなど、目白押しの内容となっている。

詳しくは専大スポーツウェブ、または学内のポスターをご覧ください。

(青木 宏平・経営1)

「専Sation」第4号刊行



最新号の表紙と村田さんのインタビュー

(青木 宏平・経営1)